

2013 年度 研究センター事業報告書

研究センター名	白川静記念東洋文字文化研究所
研究センター長名	杉橋 隆夫

I. 研究成果の概要 (公開項目)

本欄には、研究センターの実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、研究センター5ヵ年計画に記載した内容に照らし、項目立てなどをおこないでできるだけわかりやすく記述してください。

1) 学術研究事業 (以下①～④)

①「白川文字学による漢字教育が小学校児童の漢字や他の領域の理解におよぼす効果」研究プロジェクトの発足

これまでの研究所の研究成果を土台として、研究をさらに発展させ、その成果を広く社会に還元すべく、異分野研究者や福井県教育委員会(後述)の協力を得て、標記研究プロジェクトを立ち上げた。プロジェクトは以下 a)～c)の3班からなる。

a)「白川フォント開発班」…使い勝手のよい古代文字フォントを作成し、「白川フォント」として全世界に無償公開する。メンバーとしては、フォント作成・文字コード等に詳しい本学情報理工学部の研究者と、文字学分野において顕著な業績をおさめている漢字学研究会所属の関西学院大学の研究者が参加している。

b)「教授介入班」…白川文字学による漢字教育がどのような教育効果をもたらすかを実証的に研究する。実施にあたっては、国語・算数の白川研オリジナル教材を作成し、2014 年度から福井県の小学校の協力を得て児童の学習効果を調べることに ついて、福井県教育委員会と合意を得ている。メンバーとして、教育心理学の分野で顕著な業績を持つ、人間科学研究所 所属の研究者に協力を仰いだ。

c)「白川文字学班」…フォント作成する漢字の選別や、学習効果測定テスト作成のための基礎研究、アドバイスをを行う。

本プロジェクトは科研費基盤(B)、三菱財団、サントリー文化財団、学内の研究推進プログラムへ申請を行った。本研究プロジェクトを通して教育心理学・図書館学・デジタルアーカイブなど多様な専門領域の研究者と交流を持つことが出来、今後の白川学の学問的広がりへとつなげることができた。

② 研究所叢書の出版

一般読者が白川著書を読む際の手引書として、『白川静を読むときの辞典(研究所叢書五)』を、平凡社より出版。

③ 国内最高レベルの漢字学・文字学研究会「漢字学研究会」の開催と学術雑誌の発行

国内最高レベルの漢字学・文字学研究を行う研究会である「漢字学研究会」を、月1回程度開催し、最先端の研究を行うと同時に、当該分野の若手研究者の育成に取り組んだ。また当該分野における国内唯一の専門誌である『漢字学研究』は国内外の様々な研究機関から問い合わせが殺到し、出版社からの申し出に基づき、委託販売を行い、15冊の販売を行った。また、漢字学研究会が作成中の金文データベースについて、2014 年度科研費「研究成果公開促進費」への申請を行った。

④ その他(紀要・便りの発行、リレー講義の開講、学生対象学習会の実施)

『立命館白川静記念東洋文字文化研究所紀要第七号』、『白川研究所便り第八号』の発行。リレー講義人文科学総合講座特殊講義「白川学の世界」の開講。研究所の教育活動の一環として有志の学生を対象とした白川学学習会を週1回開催。

2) 文化事業

全国で漢字講座やワークショップを計37回開催、のべ800名の受講者があった。2006年度から全国で開催している体験型漢字講座「漢字探険隊」は通算100回を突破した。また小学校や企業へ出張講座を計10回開催。講師料等の収入は120万円。活動に際しては外部資金(こども夢基金)57万円の助成も受けている。

漢字教育士資格認定事業は、公益財団法人日本漢字能力検定協会・株式会社Z会・放送大学学園・NHK学園等との提携・協力により受講者を増やしている。同資格認定講座修了者のほとんどが漢字教育士資格の認定申請を行っており、同事業による収入は2013年度末現在で491万円、当初の目標500万円をほぼ達成した。漢字教育士認定者数は180名余、2014年度初めには300名超えが見込まれる。漢字教育士の自主学習会も関東・関西で設立されており、活動を繰り広げている。産経新聞社との共催による「創作漢字コンテスト」は第4回を数え、新たに富国生命保険相互会社の特別協賛が加わり、応募総数は過去最高の1.1万通を超えた。過去の作品を収めた書籍が産経新聞出版から刊行された。

II. 研究業績（公開項目）

本欄には、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。（2014年3月31日時点）

1. 著書							
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1	杉橋隆夫	増補・改訂 兵範記人名索引	代表編著	2013年10月	思文閣出版	兵範記輪読会	pp. 1～516
2	加地伸行	人に教えたくなる! 国語力を高める! 創作漢字【新書】	共著	2014年2月	産経新聞出版	創作漢字コンテスト審査委員会（編集）	
3	加地伸行	子や孫と読みたい日常語訳 be ポンキッキーズの論語【単行本】	共著	2013年5月	産経新聞出版	小島毅（編集）	
4	芳村弘道	唐代的詩人研究	単著	2014年1月	中華書局	秦嵐・帥松生・田建国 翻訳	pp. 421
5	芳村弘道、萩原正樹、石井真美子、村田進、佐藤信弥、馬越靖史、大形徹、村上幸造、武田秀夫、末次信行、木村秀海、齋藤加奈、三輪健介	白川静を読むときの辞典	共著	2013年10月	平凡社	池田智幸、池田光子、井上了、井ノ口哲也、今井環、大岩本幸次ほか	
6	上野隆三	中国百科	共著	2013年8月	めこん	大西広	pp. 276～279 pp. 282～285
7	萩原正樹	岩波世界人名大辞典	共著	2013年12月	岩波書店		
8	佐藤信弥	西周期における祭祀儀礼の研究	単著	2014年3月	朋友書店		
9	大形徹	中国文化史大事典	共著	2013年5月	大修館書店、	尾崎雄二郎、竺沙雅章、戸川芳郎編集代表	卜筮・相・占夢、3項目
10	大形徹	徐志鈞撰『老子帛書校注（修訂本）序文	単著	2013年12月	鳳凰出版社		pp.10-15
11	山田崇仁	人文学と著作権問題—研究・教育のためのコンプライアンス	共著	2014年2月	好文出版	漢字文献情報処理研究会	

2. 論文								
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1	芳村弘道	【修補】『乾隆四庫全書無板本』所収『江湖集』の鮑廷博校宋本識語について	単著	2013年3月	宋代詩文研究会、江湖派研究、第3輯		pp.124～161	無
2	松本保宣	朝堂から宮門へ—唐代直訴方式の変遷—	単著	2013年12月	『東アジア海域叢書 外交史料から十～十四世紀を探る』汲古書院		pp.77～126	無
3	高島敏夫	《天亡殷》私考—殷周革命論ノート（一）	単著	2013年7月	立命館大学白川研究所紀要第7号		pp. 1～12	有

4	佐藤信弥	小學堂文字學資料庫について—古文字の検索を中心として—	単著	2013年10月	好文出版、『漢字文献情報処理研究』、第14号			無
5	大形徹	能にみえる靈獸—その二、虎—	単著	2013年4月	『金春』第34巻・第4号		pp.10-12	無
6	大形徹	増補仙穴考	単著	2013年6月 (奥付には2012年3月)	好文出版『洞天福地研究』3号		pp.66-82	無
7	大形徹	能にみえる靈獸—その三、猩々—	単著	2013年5月	『金春』第34巻・第5号		pp.10-12	無
8	大形徹	鍼灸美容にみえる《美》意識についての考察—中国哲学を基盤とした《美》—	共著	2013年5月	『全日本鍼灸学会雑誌』Vol.63, No.2.	王財源（ファーストオーサー）	pp.123-131	有
9	大形徹	能にみえる靈獸—その四、野干—	単著	2013年6月	『金春』第34巻・第6号		pp.10-12	無
10	大形徹	能にみえる靈獸—その五、鶴亀—	単著	2013年7月	『金春』第34巻・第7号		pp.10-12	無
11	大形徹	戦国楚帛画の舟にみる復活再生観念の考察	単著	2013年10月	日本中国学会第65回大会要項		pp.11-12	有
12	大形徹	《論語》的政治理念及其実現方法	単著	2013年11月	中国人民大学『国際儒学論壇・2013儒家思想与理想之治论文集（下）』		pp.108-116	無
13	大形徹	南岳与洞天福地—既是五岳又是洞天	単著	2014年3月	土屋昌明編、好文出版社、『第1回日本・フランス中国宗教研究者会議 中国宗教における聖地—宇宙論・地理学・身体論—予稿集』		pp.94-121	無
14	落合淳思	甲骨文字の字種整理	単著	2013年11月	『立命館文学』第663号			有
15	山田崇仁	続「書契」考	単著	2013年7月	『立命館白川静記念東洋文字文化研究所紀要』第7号			有
16	山田崇仁	Googleマップを使った地理情報の利用と発信について	単著	2013年10月	好文出版、『漢字文献情報処理研究』、第14号			無
17	張莉	「倭」「倭人」について	単著	2013年7月	『立命館白川静記念東洋文字文化研究所紀要』第7号			有

3. 研究発表等					
No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名
1	芳村弘道	儲光義的田園詩	2013年4月	會通與轉化——第二屆古典文學國際學術研討會，東吳大學中國文學系，東吳大學	
2	芳村弘道	談東傳日本的《乾隆四庫全書無板本》	2013年10月	故宮學10年學術研討會，故宮博物院	
3	萩原正樹	唐宋詞と日本人	2013年10月	中国理解講座	

4	萩原正樹	「中調」「長調」考	2013年6月	第十七回宋代文学研究談話会	
5	石井真美子	『六韜』諸本と銀雀山殘簡	2013年8月	中国芸文研究会 国際平和ミュージアム会議室	池田智幸
6	後藤文男	「白川先生の『読書の思い出』を読む」	2014年2月	志恒会例会 京都市「ひとまち交流館」	
7	馬越靖史	「速盤」	2013年4月・5月・6月・7月・9月	会議名：漢字学研究会 場所：関西学院大学	
8	大形徹	戦国楚帛画について	2013年6月	2013年度人文学会、大阪府立大学学術交流会館	
9	大形徹	戦国楚帛画の舟よりみる復活再生観念の研究	2013年10月	日本中国学会第65回大会秋田大学手形キャンパス	
10	大形徹	《論語》的政治理念及其実現方法	2013年11月	国際儒学論壇・2013 儒家思想与理想之治 中国人民大学 於北京香山景明园宾馆	
11	大形徹	南岳与洞天福地一既是五岳又是洞天	2014年3月	第1回 日本・フランス 中国宗教研究者会議、中国宗教における聖地一宇宙論・地理学・身体論 専修大学神田校舎7号館、3階 731教室	
12	張 莉	關於日本漢學家白川靜的文字學體系	2013年8月	世界漢字学会第一回年会（於中国上海華東師範大学）	
13	山田崇仁	『中国古今地名大辞典』のデジタルテキスト作成とWordpress を利用した Web 公開について	2013年12月	漢字文献情報処理研究会第16回大会、花園大学	

4. 主催したシンポジウム・研究会等					
No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1	「唐代の関所・過所・公驗」	立命館大学大阪キャンパス	2013年6月	7名	なし、主催：松本保宣
2	五代の朝儀について―入閣・起居を中心に	立命館大学末川会館	2013年18月	30名	なし、主催：松本保宣
3	「第1回白川漢字指導研究会」	立命館中高	2013年8月	8名	小・中・高の先生を対象に発足、主催：後藤文男
4	「第2回白川漢字指導研究会」	立命館中高	2013年9月	6名	なし、主催：後藤文男
5	「第3回白川漢字指導研究会」	立命館中高	2013年10月	8名	なし、主催：後藤文男
6	「第4回白川漢字指導研究会」	立命館中高	2013年11月	5名	なし、主催：後藤文男
7	「第5回白川漢字指導研究会」	立命館中高	2014年2月	6名	なし、主催：後藤文男
8	「第6回白川漢字指導研究会」	立命館中高	2014年3月	5名	なし、主催：後藤文男
9	『説文解字注』読書会	藤本築男氏宅	2013年1月～12月 計20回	各回7名	なし、主催：笠川直樹
10	第11回漢字学研究会	関西学院大学池内記念館	2013年4月	9名	なし
11	第12回漢字学研究会	関西学院大学池内記念館	2013年5月	10名	なし
12	第13回漢字学研究会	関西学院大学池内記念館	2013年6月	14名	なし
13	第14回漢字学研究会	関西学院大学池内記念館	2013年7月	13名	なし

14	第15回漢字学研究会	関西学院大学池内 記念館	2013年9月	13名	なし
15	第16回漢字学研究会	関西学院大学池内 記念館	2013年10月	9名	なし
16	第17回漢字学研究会	関西学院大学池内 記念館	2013年11月	11名	なし
17	第18回漢字学研究会	関西学院大学池内 記念館	2013年12月	8名	なし
18	第19回漢字学研究会	関西学院大学池内 記念館	2014年1月	9名	なし
19	第20回漢字学研究会	関西学院大学池内 記念館	2014年2月	7名	なし
20	第21回漢字学研究会	関西学院大学池内 記念館	2014年3月	9名	なし

5. その他研究活動（報道発表や講演会等）					
No.	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間	
1	芳村弘道	講演：《全唐詩逸》成書以後在日本発現的唐詩佚存資料	上海大学文学院中国文学系	2013年11月	
2	上野隆三	講演「中国の裁判物語－『龍図公案』と『三侠五義』を中心に－」	立命館孔子学院 古典文化講座	2013年5月11日	
3	上野隆三	講演「日本における『西遊記』の受容－沙悟浄ら登場人物の形象を中心に－」	立命館孔子学院 古典文化講座	2014年2月1日	
4	後藤文男	講演「白川文字学から学ぶ」	福井県敦賀市株式会社「ジャクエツ」	2013年11月1日	
5	後藤文男	講義「白川先生に学ぶ古代文字」	立命館大学「国語科教育研究」	2013年12月24日	
6	後藤文男	授業「神様はかみなりさま」	立命館小学校3年	2013年6月26日,7月2日	
7	後藤文男	授業「神様はかみなりさま」他	草津市志津小学校4年	2013年7月5日,	
8	後藤文男	授業「古代文字に学ぶ」	立命館中学校1年	2013年9月9日,11日,12日,	
9	後藤文男	授業「口くさい」の発見	立命館高校2年・3年	2013年11月19日22日	
10	後藤文男	授業「手は七変化」	草津市草津小学校4年5年6年	2013年12月13日	
11	後藤文男	研究活動「常用漢字の系統化」	常用字解をベースとした漢字テキストを作成中	2013年4月～2014年3月(年間)	
12	張 莉	公開講座「説文解字の世界」	篆刻団体随風会（京都市立美術館別館）	2013年4月7日	
13	張 莉	講演「説文解字の世界Ⅱ」	篆刻団体随風会（難波市民学習センター）	2013年7月7日	
14	張 莉	講演「倭・倭人について」	奈良に文化の森をの会（奈良経済倶楽部ビル5F）	2013年8月4日	
15	張 莉	講演「説文解字と白川静文字学の間」	篆刻団体随風会（みやこめっせ京都市勧業館）	2013年9月8日	
16	張 莉	講演「漢字の誕生と変遷」	篆刻団体随風会（難波市民学習センター）	2013年12月8日	
17	立命館大学 社会連携課	漢字探検隊	つくば・神戸・朝来・福井・敦賀・小浜・米原 角田・山元・草津・つくば・広島・京都・東京・ つくば・土浦・広島・廿日市・福島・大船渡・ 三島	計43回	

6. 受賞学術賞					
No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
1	張 莉	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所	第7回立命館白川静記念東洋文字文化賞教育普及賞受賞	『白川静文字学的精華』（中国天津人民出版社）	2013年6月

7. 科学研究費助成事業						
No.	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割
1	大形徹	中国古代における龍と舟と扶桑にみる復活再生観念の研究	基盤研究 (C)	2013年4月	2016年3月	代表
2	大形徹	中国道教の地理的イメージと宗教的ネットワークに関する総合的調査と研究(土屋昌明代表)	基盤研究 (B)	2012年4月	2015年3月	協力者
3	大形徹	隋唐楽府文学の総合的研究(長谷部剛代表)	基盤研究 (B)	2012年4月	2015年3月	協力者

8. 競争的資金等(科研費を除く)						
No.	氏名	研究課題	資金制度・研究費名	採択年月	終了年月	役割
1	服部健二(前所長)	東洋文字文化に関する研究・普及	財団法人 日本漢字能力検定協会・奨学寄附金(400万円)	2013年12月		
2	服部健二(前所長)	漢字教育士資格認定講座の実施	財団法人 日本漢字能力検定協会・受託事業(491万円)	2014年3月		
3	佐藤信弥	西周期における祭祀儀礼の研究	財団法人 橋本循記念会・平成25年度中国伝統文化に関する学術書出版助成	2013年10月	2014年3月	

9. 知的財産権								
No.	氏名	名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録(特許)番号	国
		該当なし。						

以上。